



県政に勇氣！ 南魚沼に元気！

ひぐち
秀敏

元気通信

2022/9 第12号

発行責任者：柴田恵美子
南魚沼市塩沢1412-2 阿部
ひぐち秀敏後援会事務所
電話・FAX：025-782-5233

来春は統一地方選

ひぐち県議が改選

来年4月には統一地方選挙が行われます。統一地方選挙が行われ、ひぐち秀敏県議は改選を迎えます。ひぐち県議は当選後の3年5か月の間に、7回の一般質問をはじめ、連

合委員会での花角知事との一問一答のやりとりなどを通じて地域の声や、働く者の声を県に届けてきました。

魚沼基幹病院の循環器内科医確保をはじめとする魚沼医療圏の持

続可能な医療提供体制の確立、コロナ禍で疲弊する民宿など小規模事業者にも行き届く観光振興策の推進、中山間地農業の維持・保全、感染症や自然災害にも対応できる県組織の体制強化などを求めています。

県議会は定数53のうち、自民党が29人と過半を占め、少数者の声を

9月25日に後援会総会

ひぐち秀敏後援会は、9月25日に後援会総会を開催します。コロナ禍の影響で2年ぶりの開催となります。2年間の活動を振り返るとともに、来春の県議選に向けた取り組みの確認と意思統一を行います。

日時：9月25日（日）
18時～
会場：ほてる木の芽坂

※ 感染状況により、延期等の場合あり。

統一地方選挙

地方自治体の首長や議員を選ぶ選挙を統一して行う選挙のこと。次回が第20回。首長の辞職などにより、他の時期に実施される選挙も多い。

雪ありて

新型コロナウイルスの感染者が急拡大し、B・A・5対策強化宣言が発令された。県内の病床使用率は8月29日現在49・4%とまだ高い。医療機関では職員にも感染者や濃厚接触者が拡大し、人員不足に拍車がかかる。保健所も重症化リスクのある方への対応や住民からの相談に追われている。■感染防止と治療にはマンパワーが必要だ。しかし、看護師や保健師が確保できないなど人員不足への対応は後手に回っている。■と言わざるを得ない。■政府は、感染者の全数把握の見直しを進めている。人員不足から対応できずに見直すのは、国民の命と健康は守れない。■戦車や戦闘機では感染症には立ち向かえない。看護職員や保健師の増員こそが求められる。（ひ）

議会広報の公平性求める

新潟県議会が県民に開かれた議会となっているか、公正な議会運営が行われているか、議会広報のあり方や役員の選出、議会の公開などから考えてみたいと思います。

県議会において議員がどのような質問をし、新潟県議会ではインターネット中継や議事録の公表の他、「にいがた県議会だより」(タブロイド判4ページ)で県民にお知らせしています。

「にいがた県議会だより」には2019年4月28日発行の第69号までは質問者の氏名が掲載されていませんでしたが、同年8月4日発行の第70号から質問者の氏名と顔写真が掲載されるようになりました。一步前進ですが、質問者がわかり明らくなったことは、自民党議員の質問の掲載が多いことです。

掲載方法は左上のとおりで、代表質問者の

者の氏名と顔写真が掲載されるようになりました。一步前進ですが、質問者がわかり明らくなったことは、自民党議員の質問の掲載が多いことです。

掲載質問数は党会派の所属議員数により配分されることとなります。一般質問の人数が所属議員数により党会派に割り振られているので、所属議員の多い党会派は二重に多く配分されることとなります。

議会だよりの編集は広報委員会で議論され、委員の構成は自民党7、未来にいがた2、リベラル新潟1、公明党1、共産党1の12人です。ひぐち議員も8月から

党会派別の議員数

自民党	29人		
未来にいがた	7人		
リベラル新潟	5人		
公明党	2人、	共産党	1人
無所属	8人、	欠員	1

三会派のリベラル新潟の5人を合わせた議席数は12人(22%)で、自民党の4割に相当し、議会全体でも4分の1に近い割合です。常任委員会の正副委員長ポストを1つずつ担って

一般質問の年間人数配分

自民党	28人		
未来にいがた	8人		
リベラル新潟	5人		
公明党	3人、	共産党	1人
無所属	述べ8人	(各1回)	

「にいがた県議会だより」には2019年4月28日発行の第69号までは質問者の氏名が掲載されていませんでしたが、同年8月4日発行の第70号から質問者の氏名と顔写真が掲載されるようになりました。一步前進ですが、質問者がわかり明らくなったことは、自民党議員の質問の掲載が多いことです。

自民党が委員長を独占

6月定例会で、常任委員会、特別委員会等の構成員と正副委員長が決まりました。今回も常任委員会の正副委員長、特別委員会等の委員長を自民党が独占しました。これまで未来にいがたでは議席数に応じた役職配分を求めてきましたが、自民党は応じていません。

県議会における質問回数や順番、派遣者の

決定などは政党、会派の議席数に応じた按分で決定されています。現在、議員定数53のうち、自民党は29人(54%)です。保守合同で自民党が結成された1955年以降で60%を切ったのは、67年以来2度目という低さです。一方、第二会派の未来にいがたの7人と第

隣接5県のうち、山形、長野、富山の県議会では、自民党が常任委員会の正副委員長を独占することなく、他会派の議員がその任に着いています。新潟県議会においても、より公平、公正な議会運営が求められます。

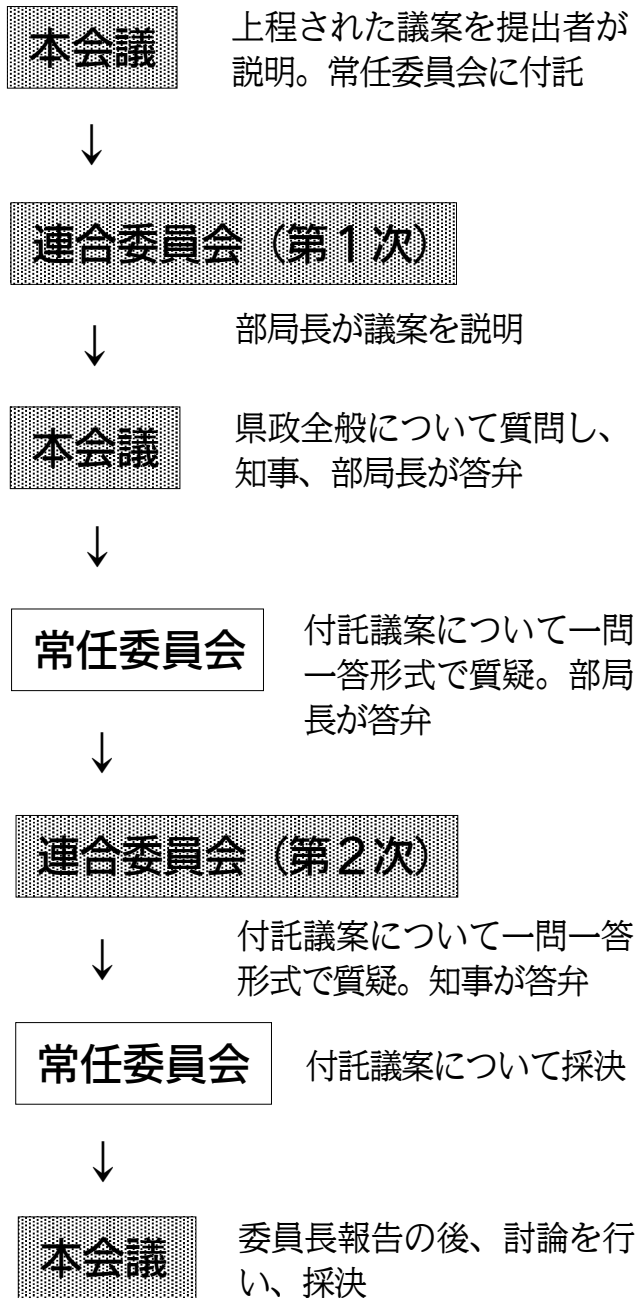
「にいがた県議会だより」質問・答弁の掲載方法

掲載数23問。質問者1人につき1問を割り振り、残掲載数については各党会派の所属議員数により配分。代表質問を行った党会派は、配分された質問数を代表質問に充てることを基本として掲載質問を選定。「にいがた県議会だより」に記載の掲載方法



更なる改革が求められる新潟県議会

定例会の流れ



※ 網掛け部分の会議の様子は、中継及び録画でご覧になることができます。

委員長
中継
常録

新潟県議会は未実施 12府県議会では実施

新潟県議会定例会の流れは左図のとおりで、会期は通常予算を審議する定例会(2月定例会)は32日、その他の定例会は21日と新潟県議会会議規則で定められています。

会議については地方自治法第115条に公開の原則が定められています。公開とは、「傍聴の自由」「報道の自由」「会議録の公表」をさします。しかし、地方自治法第115条にいう「会議」とは本会議をさし、委員

新潟県議会においては、常任委員会の傍聴や会議録の公表は行われていますが、会議録が公表されるのは次の委員会開会の直前です。また、中継が行われる

のは本会議場で知事が答弁する連合委員会に限られ、委員会室での質疑の様子は中継されていません。特別委員会についても同様で、傍聴、会議録の公表は行われていますが、中継は行われていません。

都道府県議会におけるインターネット中継の状況ですが、本会議の中継はすべての都道府県で行われています。常任委員会の中継は12府県議会、決算特別委員会などの特別委員会の中継は31都道府県議会です。(いずれも、一部の委員会のみ、又は会議の一部のみ実施を含む。2016年4月1日現在)

委員会の中継を実施するかどうかは、議会運営委員会が決めることとなります。議会運営委員会は申し合わせにより「原則として所属議員5人以上の党会

常任委員会を中継している府県議会

栃木県、三重県、石川県※
京都府、大阪府、兵庫県※
奈良県、鳥取県、香川県
佐賀県、長崎県、沖縄県

※一部の委員会のみ実施している県議会

派」で構成され、定数は「委員会を構成する党会派の代表者1人ずつのほか、所属議員5人につき1人を加えた数」とされ、現在の委員会構成は、自民党6人、未来にいがた2人、リベラル新潟2人です。ひぐち議員が所属する未来にいがたは、常任委員会も中継すべきと考えています。

常任委員会についても中継が行われれば、県民がより早く、その場の雰囲気を含めて知ることが出来ます。新潟県議会においても早期に実施されることを求めます。

ひぐち県議は、玄関先や街角でみなさんの困りごとや、ご要望などを聞かせていただいています。即答できないこともあります。市議会議員や行政の力をお借りしながら、課

玄関先から

題の解決に向けて奮闘しています。ときには難しい課題に直面し、悩むこともあるようです。ひぐち県議の日常活動の一コマを、エピソードも交えながらお伝えします。



8月3日からの豪雨で県北地域に被害が発生しました。私の住む塩沢でも7月13日の夕方には1時間に36・5ミリの雨が降りました。伊田川が増水したので地元消防団のみなさんが土嚢を積むなどしましたが、水が土手を越えて田に流れ込む被害が発生しました。

土砂を撤去し水害対策

「平成23年7月新潟・福島豪雨」時の、塩沢の時間最大降水量は89・5ミリでした。この時より降水量は少なく短時間でしたが、被害が出ました。川底に堆積した土砂により、河川の断面積が小さくなったことが要因の一つです。

県では水害を未然に防ぐため、河川改修のほか、川底の土砂の撤去や河川内の立木の伐採を行っています。伊田川も川幅を広げる改修工事を行っています。が、計画区間の国道17号まで工事が終了するの10年ほどかかる予定です。このため、地元では国道17号から下流の未施工部分の土砂撤去を求めました。

被害を受け、県地域振興局地域整備部に早期の対応をお願いしたところ、さっそく葦の刈払いが行われました。8月下旬からは土砂撤去が行われています。県内水面漁業協同組合連合会の理解にも感謝します。

他の河川においても対策が進むよう、引き続き求めていきます。

【降水量は気象庁ホームページから引用】

4月に入り、消えかかっていた横断歩道の多くが塗り直されました。黄色い帽子の新生徒だけでなく、保護者や地域のみなさんも喜んでくれました。

喜んできました。時を前後して道路のセンターラインや側線も多くの所で引き直されました。車の運転席から見てみると、センターラインの輝くような白色になりました。

比べ、横断歩道は少し黒ずんだような白色に見えました。横断歩道は警察署が、センターラインや側線は道路管理者が引き直すので、成分も違うので、色も違うとのことでした。

さらに、耐久性を高めるため、センターラインより厚く塗られていて、単価も高いそうです。横断歩道は安全のために厚化粧をしているのでした。

横断歩道は安全に厚化粧

湯沢町では旧湯沢小学校跡地の一部を隣接する主水公園の区域として整備する予定です。「計画変更」に認識の整備に当たり、近隣住民の意見を聞くこととしました。

こうした動きの中、もっと住民の声を聞いて公園整備に反映させてほしいと署名活動を行っている方から連絡がありました。

基本設計は2017年に決定されていて、大幅な変更が難しい段階にある中で、整備の「計画変更」に認識の相違もあったようですが、住民がまちづくりという署名を見つけた。スケートボードパークを創る」という署名を見つけた。

住民の声をまちづくりに

トボードパークは変更要望の一つでもありました。住民の声をまちづくりに反映させようとする姿勢に賛同し、私も署名させていただきました。